

リーディングDXスクール事業【実践事例】

※京都市立八条中学校（京都府）

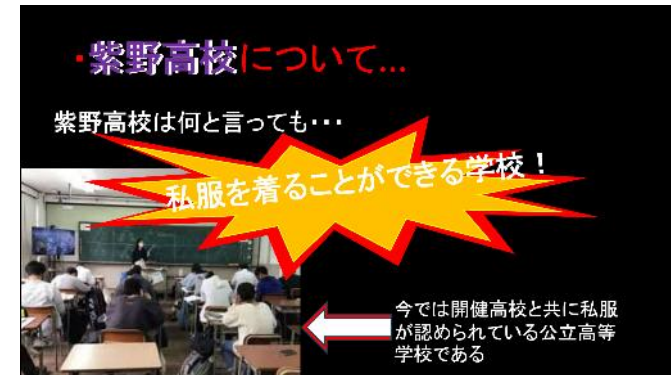
【取組内容】「情報活用能力の育成②」

- 総合学習にて、上級学校（高等学校）や観光地についてインターネットを活用することにより、多様な視点の情報を得ることができ、その情報を仮説として、実際にその現場を経験し、場所と人に触れ、仮説と経験を比較することで、情報と実際の差など、新しい発見と学びにつなげることができた。また当日は、タブレットを持参し、リアルタイムで得た情報にTeamsに投稿することで整理・分析につなげることができた。
- 総合学習にて、インターネットを活用し、行き方や所要時間、値段なども調べ、計画を立て、その計画を実行することができた。
- 総合的な学習で、実際に生徒たちが、上級学校と観光地を訪問し、その情報（営業時間、拝観時間、入場料、所在地、行き方など）を生かすことで、情報活用能力の育成を図った。



校外学習

7班



大谷高校でしたこと

高校のパンフレットを見ながら、質問を担当の先生に聞いた。
校舎の中を回って、中学生の授業と高校生の授業を見学した。
中学生の授業は理科の実験をみた。
高校生の授業は国語の授業と体育の授業をみた。
国語の授業は教室の雰囲気が良くて、生徒と先生が笑顔だった。
体育の授業は男女別でやっていた。先生と生徒のきりが近くて、楽しそうだった。
女子→平均台 男子→ハードル走



開建のすごかったポイント

- ・学校の生徒みんなが楽しい学校生活を送れるように考えられてた
- ・球技大会を生徒内で競技を決めたり、1年の研修旅行は行き先を決めたり、定期的に行事を行ったりして勉強をしながら楽しむという工夫がされてすごかった。
- ・行事だけでなく学習面でもいろいろな工夫がされてた
- ・教室「L-pod」があり普通の教室の四倍で、ホワイトボードで区切ることができます。
- ・担任の先生が三人いて講義や授業内容が決まります

新普通科系高校完成イメージ図（校舎内）

